6. 教会生活とは

神様によって創造されたこの壮大な世界の中で、全能なる神様が私たち一人一人を愛し、気にかけてくださっているという聖書の真実を発見することはとても感動的なことです。詩篇では私たち一人一人は生まれる前から神様はご存知であるということの喜びが歌われています（詩篇 139:13-17)。この愛によって、神様はその一人子を、私たち一人一人を破滅から救うためにこの世に送るということしてくださいました（ヨハネ 3:16)。私たちは一人一人が主イエスを受け入れなければなりません（ヨハネ 1:12)。それによって新しく生まれることは、物理的な誕生と同じようにただ一度だけです（ヨハネ 3:5)。私たちの成長と発達も私たちの神様への応答に依存します。これらのことから考えると、私たちは神様の目には別々の人生を歩んでいる個々の信仰者であるように思えます。しかしその考え方は聖書が描いているものとはかけ離れたものです。

神の子の一人であるということは神様の家族の一員であることです（1 ヨハネ 3:1；エペソ 3:15)。私たちは集められて「神の人々」となるのです（1 ペテロ 2:9-10；黙示 21:3)。神様は私たちを他の王国の市民でありながら、地上において天国の村をなしていると見ています（ピリピ 3:20)。聖書では主イエスについて行く者たちを、多くの場合複数形で表しています。それらは「信仰者たち」（使徒 5:14)、「弟子たち」（使徒 9:1)、「聖徒たち」（エペソ 1:1)、「兄弟たち」（ヤコブ 2:1)、そして「クリスチャンたち」（使徒 11:26）という呼び方です。ここで注意していただきたいのは聖書には「聖職者」と区別するための「平信徒」という呼び方はありません。ほとんどの新約聖書の手紙は信仰者の群れに対して書かれたものです。私たちはキリストと共にお互いに一つとなって生きている者たちです（エペソ 2:5-6、21-22)。私たちは別々ではなく一緒になって機能するように創られています（1 コリント 12:12-27)。使徒の時代には主は救われた者たちを日々信仰者の群れに加えていかれました（使徒 2:47)。この交わりはエクレシアと呼ばれ、教会という言葉に訳されています。これは現実的で機能的な信仰者の集団です。その集団の一部となる、ということは神様の私たち一人一人に対する目的と計画の一つです。

教会の定義

「教会」という言葉はエクレシアという言葉の本来の意味からは違ったものを想像させます。ある人は「建物」を想像するでしょう。「あそこにある教会」などという言い方はそれを表しています。またある人は「礼拝」や様々な「会議」を想像するでしょう。教会は行為や様々な催しもの集まりだと思われるときもあります。「私たちはいつも教会ではいろいろの奉仕をしています」と言います。また教会は「団体」であるとも考えられます。「私たちはカトリック教会に属しています」と言います。このような考え方は聖書の意味

とは関係なく発達してきました。

エクレシアという言葉の前半は「出される」、そして後半は「召される」という意味です。従って「召し出された人々」または「召し出された群れ」というのが直接の訳です。同じ言葉が使徒行伝 19:32 と 39 と 41 では弟子たちの教えに反対するために集まった群衆に使われています。人々が集まり、群れとなるときに普通に使われる言葉です。この言葉は主によって主のために召し集められた人々に対して使われました。主はその人々を暗闇から光の中へと「召し出し」ました（1 ペテロ 2:9)。私たちは神の王国へと「召しだされた」者たちです（コロサイ 1:13)。聖書の中ではエクレシアという言葉は建物でもなければ礼拝、団体、機能などではなく、キリストを信じる者たち、神の人々を指します。

教会の二つの面

聖書ではエクレシア（教会）は二つの意味で使われています。一つは全体的な意味、もう一つは地域に限定した意味で使われています。全体的な意味ではペンテコステ以降キリストのもとに来たすべての人、死んだ者、生きている者、すべての人種、すべての国を含みます。聖書で「キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげた」(エペソ 5:25) とあるのは全体を意味しています。教会が主の体であり（エペソ 1:22-23；4:4)、主がその頭である（エペソ 5:23；コロサイ 1:18）というときにも全体的な意味を示しています。それらの人々が一つの場所、あるいは一つの建物、また一つの地上の団体に属することはありません。神様のもとで一つになっているということで神様の心の中にのみ存在するので、時として「神秘的」とも言われます。これはイエス・キリストを基礎にし（エペソ 2:20)、新約聖書の使徒や預言者による本当の教会です。聖霊のみが私たちをキリストに結び付けその構成員としてくださいます（1 コリント 6:17；エペソ 5:30)。この考え方は旧約聖書の時代や、四つの福音書の時代にはわからないものでありました。ユダヤ人と異邦人は同じ条件で一緒になることはなかったからです（エペソ 2:11-16；3:6)。キリストの教会はまだできていませんでした（マタイ 16:18)。それはペンテコステの日を初めとして（使徒 1:5；2:4；5:11）聖霊のバプテスマによってキリストと信仰者が結ばれた結果、形成されたものでした。キリストの教会はイスラエルの荒野での会衆（あるいは教会）とは異なります（使徒 7:38)。ユダヤ人、異邦人、そして今日の神の教会はそれぞれ区別されています（1 コリント 10:32)。イスラエルの国は現在では神様によって「私の民ではない」と言われています（ローマ 9:25；ホセア 2:23)。聖書的にはキリストを信仰する者は、今ではすべて神の民です。

全体的な意味の教会の一部であるからといって地域の教会に参加する必要がないわけではありません。最初にキリストを信じた人々はバプテスマを受けて、エルサレムの交

わりの中に加えられました（使徒 2:41）。彼らは他の信仰者と一緒に共同生活をしました（使徒 2:42-44）。そして多くの教会が周辺の地域に急速に広まっていきました（使徒 9:31；15:41；16:5）。アジア（１コリント 16:19）、マケドニア（２コリント 8:1）、ガラテヤ（ガラテヤ 1:2）等他の地域へも広まっていきました。それらの教会は「キリストの教会」（ローマ 16:16）、「神の教会」（１コリント 11:16）、「聖徒たちの教会」（１コリント 14:33）と呼ばれていました。また集会の行われた都市の名前をもって「コリントの教会」（１コリント 1:2）とか土地に住んでいる人たちの名をとって「テサロニケ人の教会」とか呼ばれました。2 世紀の間、彼らは礼拝のための建物を所有するわけではなく、家庭で集まっていたようです（ローマ 16:5；コロサイ 4:15）。簡単な組織をもっていたようで聖徒たちのリーダーは複数形で「監督者たち」とか「長老たち」とか呼ばれていました（ピリピ 1:1；1 テモテ 3；テトス 1）。初期の教会では複数のリーダーが教会をまとめていたようです。リーダーたちは尊敬され、教会員は彼らに従っていました（ヘブル 13:17；１テサロニケ 5:12）。私たちは主イエスに従うだけでなく、教会のリーダーにも従うことも要求されています。

全体的な意味での教会に属する者は全員が本当の信仰者であり、地域の教会員もそうであるはずです。しかし、キリストへの信仰告白は必ずしも本当の改宗を意味しないからです。主イエスは麦の中には毒麦もいばらも共存することを教えています（マタイ 13:24-30、36-43）。真実でない告白は、その人が地域の教会員であるかないかには関わらず、主イエスの再臨の日には拒絶されます（マタイ 7:21-23）。

教会の特徴

人々は教会と聞くとスピーカーのある会堂とか、本部のある組織とか、役員の組織とかを思い浮かべるようですが、聖書は全く違うものであることを教えてくれます。

１．一つである（エペソ 4:3-6）
教会は一つであり、教会内での分派や分裂はないはずである。霊的に一つであるためにあらゆる努力がされるべきである（エペソ 4:3）。同じ交わりの中では分裂しないようにすべきである（１コリント。1:10；11:18；12:25；２コリント 12:20）。間違った信仰が入ってくるときには特に気をつけねばならない（２ペテロ 2:1）。分裂を起こそうとする人々には警戒し、避けるべきである（テトス 3:10）。
２．多様である（エペソ 4:7；1 コリント 12:11）
それぞれの教会員は、その方法は異なっていても、教会のためになにかできるはずである。それぞれが違う形で奉仕することは人間の体の部分部分にたとえられています（１コリント 12:12-27；ローマ 12:4-5）。教会での一人一人の信仰者は人間の体のそれぞれの部分である。そして主イエスはその頭である。主は教会員一人一人に霊的な賜

物を与えてくださっています（１コリント 12:13)。聖書がある能力を説明するときは、地域教会全体に与えられている特別な能力を示すのであって、個人のことをさしているわけではありません（１コリント 12:31；14:1)。大切なことは教会員一人一人が教会という体の中で負うべきそれぞれの使命のために賜物が与えられているということです。教会員一人一人がそれぞれに異なる役割を与えられているということです。教会員はお互いに尊敬しあうべきです。すべての教会員が同じ賜物を与えられているわけではありません。

３．相互依存（エペソ 4:11-12；１コリント 12:21-24）

私たちは一人で働くようには出来ていなくて、お互いを必要としています。この賜物の大きな目的は他の信仰者を迎え入れ、ともに伝道の働きをすることにあります。彼らを傍観者、個人主義者または機能しない体の一部にしてはなりません。すべての信仰者は教会の中で何らかの働きをするようにと召されています。

４．礼拝（１ペテロ 2:4-5）

私たちは素晴らしい神を崇め、賛美するために召されています（ヨハネ 4:23)。この働きは教会をもって「神の家」もしくは「神殿」を象徴するために行われます（１コリント 3:9、16-17；１テモテ 3:15；エペソ 2:22）旧約時代の神の人々は荒野では幕屋と呼ばれる特別なテント、そしてエルサレムでは神殿にて礼拝を捧げていました。その後、神様は人の手で作られた神殿に住まわれることはなくなりました（使徒 6:48)。これはイスラエルという国とキリストの教会とのとても重要な違いです。神様の家は霊的なもの、すなわち聖霊の宿っている信仰者、生きている石の集まりになりました。私たちが捧げる犠牲はもう生き物ではありません。それらは捧げられた体、物理的な捧げもの、個人的な賛美になりました。「宗教家」だけでなく、すべてのキリストの信仰者は祭司になったのです（1 ペテロ 2:5、9)。「宗教家」という言葉はラテン語の「神父」から来ています。神の教会では礼拝、すなわちメッセージを静かに聞いていたり、聖書の言葉を反復するだけでなく、溢れる神への賛美が最も重要なものです。

５．愛のある関係（エペソ 5:23-27；２コリント 11:2）

これは教会が花嫁であるという象徴であらわされています。ペンテコステからは信仰者は主イエスという素晴らしい花婿と婚約をした美しい乙女と言われています。主イエスは花嫁を限りなく愛し、花嫁が純粋なままで捧げられることを望んでおられます。それとは対照にイスラエルの国は離婚した女性であると言われています（イザヤ 50:1)。教会は主イエスに限りなく近く親愛なる関係であるべきで、主の目的のために現在も将来も中心的な役割を果たすことを求められています。主イエスは常に花嫁にとって良いことのみを考えておられます。教会も花婿を常に中心とすることが大切です。

６．その他の特徴

腐敗や麻痺しているわけではなく成長していること（使徒 6:1、7；12:24；19:20)。死んでおらず生きていること。清く汚れていないこと（１コリント 3:17;1 ペテロ 1:15-16)。

神学的に純粋で背教的でないこと（１テモテ 1:3、10；テトス 1:9-10；２ペテロ 2:1-3；黙示 2:13-14、20）。主イエスによって表されている、愛、命、光の教えが本当の聖書的な地域教会からは輝き出ているはずである。

教会の機能

その地域で教会はどのような機能を果たすべきであろうか。主イエスの大宣教命令（マタイ 28:19-20）にある役割は真剣に考えられなければならない。すなわちどこでも福音を述べ伝え、キリストの弟子を加えていくことである。その具体的な例は使徒行伝 2:40-42 に見ることが出来る。人々は宣べ伝えられて福音を信じ、バプテスマを受け、地域の教会での活動へと加えられていった。その生活と機能は次の四つから成る。使徒の神学、交わり、パンを裂くこと、そして祈りである。具体的に言うと、しっかりとした聖書的教え、教会内での他の信徒との交わり、聖餐式でパンを裂き主イエスを覚えること、そして他の信徒と共に祈ることである。なぜ聖餐式でパンを裂くことがここで取り上げられるのだろうか。それは初期教会の集まりでの中心であったからである（使徒 20:7；１コリント 11:23-33）。しかし、これは神が霊的な命のない形式を重んじているわけではない。聖書の中ではユダヤの宗教的儀式は本当の命と意味に欠けているとして神から見放されてしまった。

初期教会は人々を当時の死んだような宗教から、愛に満ちた行動（使徒 2:。45）と大胆に神の御言葉を語ることによって勝ち取っていった（使徒 4:13、29、31）。信仰者が迫害によって各地に散っていったときも、彼らの生き生きとした暮らしと証しによって信仰はかえって広められていった。これはけっしてそれらの人々が完璧であったという意味ではない。時として彼らも世俗的で人間の欲に引きずられていると非難されたこともあった（１コリント 3:1-4）。ある人々は本当にクリスチャンであるか自分の生き方を見直すようにと言われた（２コリント 13:5）。またある人々はそのでたらめな神学のために非難された（ガラテヤ 1:6-9；3:1-3）。主イエスが教会と共に歩んだとき、主はそれらの教会に命令もしたが、非難もした（黙示 2-3）。しかし、結果として教会は多くの地域に広まり、キリスト教は優勢になっていった。いろいろなものは不足していたが、教会には生命があった。神様はその御計画を着々と進められているのであった。

教会の将来

キリストの教会の輝かしい将来は、キリストが再臨されたとき空中に引き上げられ主とお会いすることである（１テサロニケ 4:16-17）。そして私たちは体もその他も変えられるのである（１コリント 15:51-54）。私たちは霊的には主のようになり、主と共にいるよ

うになるのである（1 ヨハネ 3:2-3)。私たちは一つの傷もない、きれいなものに変えられるのである（エペソ 5:27)。

教会生活

１．新約聖書では「教会」という言葉が、全世界的な意味（全世界の歴史上すべてのクリスチャン）また地域的な意味（ある地域にいるクリスチャンのグループ）にも使われています。次の聖書の個所は全世界的か、地域的な意味として使われているでしょうか。

１コリント 10:32　　ガラテヤ 1:1-2

エペソ 5:25　　コロサイ 1:18

１テサロニケ 1:1

２．全世界的な教会と、その構成メンバーを説明しなさい（エペソ 1:22-23；4:15-16)。

３．使徒行伝 2:42 を自分の言葉で書き直しなさい。

この聖句とマタイ 28:19-20 から地域教会の主な活動は何かを書いて下さい。

４．クリスチャンの交わりの目的を書きなさい（箴言 27:17；伝道者 4:9-10；ヘブル 10:24-25)。

５．「私は教会に行く必要は無い。家族と一緒に海辺の別荘でも、家の居間でも神を礼拝することはできる」という人たちに対してどのように言うことが出来るでしょう。

６．神は地域教会に対しどのような霊的リーダーを与えてくださるでしょうか（ピリピ 1:1)、またそのリーダーたちはどのような人格を必要とされているでしょうか（1テモテ 3:1-3)。

地域教会での霊的リーダーたちの責任はどのようなものがあるでしょう（ヘブル 13:17；1ペテロ 5:1-5)。

７．地域教会の霊的リーダーに対する信徒の責任はどのようなものでしょうか（ヘブル 13:7、17；1ペテロ 5:5)。

あなたはこの聖書の命令にどのようにして従っているのでしょうか。

８．一人一人の信徒は教会でどのような役割を果たすべきでしょうか（1コリント 12:12-17)。

なぜ神は一人一人の信徒に霊的な賜物を与えたのでしょうか（エペソ 4:11-16)。

地域のグループでは、あなたはどのような態度が適切であると思いますか（エペソ 4:2-3；ヨハネ 13:34-35)。

９．あなたの見解ではどのような時点で「礼拝だけに出席する人」から「教会で責任をになう信徒」に変えられるでしょうか。あなたはどちらですか。

１０．　あなたが他の町に引越しをしたとき、何を基準に教会を選びますか。聖書のどの個所を参考にするでしょうか。